

地域と農業を結ぶ、ふれあいと幹の発信源

# Ag'resh

2018. VOLUME.99

あぐ  
れっしゅ

6

特集

J A共済の耳より情報

JA自動車共済に  
便利なアプリ登場！

みんなのよい食プロジェクトとは、  
これから日本人にとって「よい食」  
とは何かを、日本の農家とJAグループ、  
消費者のみなさんで一緒にになって  
考え、行動していく運動です。



腕  
じ  
ま  
ん  
よ

地域じまんのモノ語り

ドローなき熱戦～三本木農業高校伝統の「マッドフラッグ」大会～



フラッグを目指して猛ダッシュする生徒



十和田市の県立三本木農業高校は5月24日、全校田植えで伝統の「マッドフラッグ」大会を開いた。生徒ら男女150人が、ゴール先のフラッグを目指し水田を駆け抜けた。男子の部では農業機械科3年生の田高怜音(17)さん、女子の部では動物科学科3年生の宍倉紫苑(17)さんが優勝した。

スタートの合図とともに、生徒は50メートル先にある1本の旗を目指して猛ダッシュ。迫力あるダイビングを披露し、応援する観客を湧かせた。優勝した田高さんは「高校生活の最後にみんなで最高の思い出にできた」と勝利を喜んだ。



おいしい米へ元気に田植え

～耕そう、大地と地域のみらい～

教育活動助成のJAバンクアグリ・エコサポート基金を活用し、小学生がJAと青年部、米農家、地域住民の人たちの協力のもと田植えを楽しみました！



米農家から紫黒米の特長を学ぶ児童

紫黒米の苗を植えたよ！

東北町立上北小学校5年生57人が5月24日、上北支店管内の米農家、姥名敷さん所有の水田10haに紫黒米(もち米)の苗を植えた。児童は米づくりの一年を学ぶ計画で、支店の営農担当職員も学習を支援する。

児童は秋の稲刈りも体験し、12月の収穫祭では学習の成果発表や協力してくれた人たちを招いて餅つきを行う予定だ。



JAの営農指導員が植え方を指導

次回外務予定日 7/11(水)～15(日)

\*「耕そう、大地と地域のみらい」は、全国JAグループのキャッチフレーズです

■平成30年6月8日発行 ■発行／十和田おいらせ農業協同組合 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829  
■編集／JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <http://www.jatowada-o.or.jp> ■Email/[soushu@jatowada-o.or.jp](mailto:soushu@jatowada-o.or.jp) ■印刷／アート印刷

表紙写真紹介

● シリーズ 日本の農業に生きる後継者 Vol.75

けいしょうびと



ももいし支店管内  
あとむら けいた  
後村 賢太さん(38)

## 農業を通じ 豊かに生きたい

県内最大のダイコン産地を引っ張る、おいらせ町の若き農業者の一人。5月25日から収穫が始まり、住宅敷地内にある選別場には、ダイコンを積んだトラックが往来する。洗浄したダイコンを手に「まづまずの作柄」と話し、日量平均で12~13tをほぼ毎日出荷する。

3年前、父親から法人代表を受け継ぎ、農業経営に加え、雇用主としても日々奮闘。夢は「農業を通じて、豊かに生きること」と話す。

### 従業員とのコミュニケーションが大事

県外で働き、両親をサポートするため11年前にUターンして就農した。農家3代目になる。親元就農で、栽培技術や経営のノウハウを学び経験を積み重ねてきた。

会社の従業員数は現在13人。雇用の確保が難しい時代にあって、通年雇用とコミュニケーションづくりを大切にする。

通年雇用に向け、冬場はゴボウ選別に加え、小松菜のハウス栽培を導入して収益源にする。また、「みんなが協力し、少しでも農業を楽しめるように」と、定期的な食事会などを開き、従業員同士のコミュニケーションも気遣う。



### こだわりは土づくり

栽培面でのこだわりは土づくり。土壤の状態を調べ診断結果に基づく施肥設計で、生産コストの軽減につなげる。

ダイコンは大規模な作付面積と11月までの長期間にわたる出荷になる。そのため「収穫時期を見込んだ品種選定が一番難しい。天候や管理などによって、収穫時期がずれれば選別の処理能力を超えてしまう」と話し、もっと管理技術を高めていくことが今後の目標だという。

### 野菜が消費者の力に

農業の魅力について「大変なことも多いけど、作った野菜が消費者の力になっていると思うと、やっていて良かった」と実感する。

#### プロフィール

あとむら けいた おいらせ町農業  
組合員/(有)マルショウ農園 代表取締役を務める  
家族構成/両親、妻、子3人  
農業経営/ダイコン30ha、ナガイモ5ha、ゴボウ6ha、  
ニンジン2ha、小松菜500坪

## 第8回 通常総代会開催日

開催日時: 平成30年6月26日(火)

午前 9時 受付開始

午前10時 開会

開催場所: JA本店 3階大会議室

十和田市西十三番町4-28

※当日は総代会資料を持参願います。

金融部

### 「夏の貯めトクキャンペーン」 始まりました!

平成30年8月31日(金)まで



対象:個人  
預入額:新規・増額書替10万円以上  
預入期間:1年  
付帯取引有り(新規申込を含む)  
店頭表示金利+年0.1%上乗せ

### ご成約された方に、

フードコンテナセット  
(HELMi×CHORIS)か  
保存トートバッグの  
(MILESTO×CHORIS)  
どちらかプレゼント!



※数に限りがございます。

付  
帶  
取  
引

JAカード・給振・年金予約・年金指定・ネットバンク  
5大公共料金(電気・電話・ガス・水道・NHK)・ローン  
定期積金・販売代金入金・購買代金・JA共済契約

※いずれか1つの取引きがあれば対象となります

※詳しくは本支店金融窓口まで。

### 年金来店感謝デー

期間:6月15日(金)、18(月)、19日(火)

6月はハッピーターン

本支店 各先着50名様

### ローン相談会(本支店のご案内)

毎月第3日曜日 9:00~15:00

相談会場
本店・下田支店
上北支店・七戸支店
むつ支店

6月 17日	7月 15日
-----------	-----------

農業機械・農業に関わる設備資金等の相談も承ります。



各種ローンがネットで仮申込みできます。  
検索方法は「JAネットローン」で検索!!

24時間365日受付中

もくじ

contents

あぐれっしゅ  
vol.99

6

特集 4~5p

JA共済の耳より情報

～JA自動車共済に便利なアプリ登場!～

総務部

・第8回総代会開催日

金融部

・夏の貯めトクキャンペーン始まりました!... 2p

・年金来店感謝デー・ローン相談会

継承人 表紙写真紹介

後村 賢太さん(ももいし支店管内)..... 3p

NEWS&TOPIC 地域の話題 ..... 6p

・ダイコン10億円超えを

・面積拡大分の種苗費助成

・十和田産品PR隊結成 一ほか

あぐれっしゅ情報① ..... 9p

・金融部 共済部表彰

・指導やさい部 青果市場販売要請

あぐれっしゅ情報② ..... 10p

・支店の営農担当職員を紹介

子会社通信 ..... 12p

・おすすめレシピ紹介

頭の体操 パズル? ..... 13p

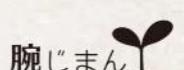
information ..... 14p

・平成31年度 新採用職員募集

・JAマイカーローンキャンペーン実施中!

・理事会だより 子牛市場 一ほか

役員室のつぶやき



地域じまんのモノ語り ..... 16p

・ドローなき熱戦  
～三木木農業高校伝統の  
「マッドフラッグ」大会～ ほか

JAの概況 平成30年5月末日現在

正組合員数/6,643人

准組合員数/5,145人

役員数/26人

職員数(准職・嘱託含)/292人

貯金高/773億6,803万円

貸出高/148億7,095万円

## ご利用のイメージ(事故受付)



「事故が起こったときは、こちら」のアイコンをタップします。

「お車が走行できる場合」を選択するとJA共済事故受付センターに電話がかかります。

電話発信と同時に、次の情報も送信されます。  
・位置情報(GPS)…自動送信  
・ご契約車両の情報・自動送信(登録時)

### 直接JAへの連絡も可能です。自動車事故の連絡先(4月~10月末まで)

平日 8:00~17:00

**[十和田・ももいし・下田・上北・十和田湖・七戸のご契約者さま]**

各支店の金融共済課まで

**[むつ・横浜町のご契約者さま]**

むつ支店金融共済課/TEL.0175-22-1315

土日・祝日・営業時間以外の連絡先

◇事故のご連絡先/TEL.0120-258931

◇レッカー・応急対応のご連絡先

TEL.0120-063931

またJA共済は、地域に根ざした「ひと・いえ・くるま」の総合保障で、一人ひとりの人生設計をサポートします。

詳しくは、お近くのJA共済窓口までお尋ねください。

### News 「ひとの保障」…生活障害共済「働くわたしのささエール」が新登場！<平成30年4月>

病気やケガにより身体に障害が残ったとき収入の減少や支出の増加に備えられる幅広い保障です。

### News 「ひとの保障」…JAこども共済「マザーズセレクション大賞」受賞(平成29年度)

NPO法人マザーズ協会が設定する「マザーズセレクション大賞」とは、ママたちが「使ってみて良かった！」「他のママたちに紹介したい！」「便利で使いやすい！」と感じた企業・商品に投票する、ママたちの信頼と好感で選ばれる賞です。

### News 「いえの保障」…建物更生共済 むてき+(プラス)実損てん補特約付<平成29年4月改訂>

ご契約例 建物評価額2,000万円、加入金額1,000万円(加入割合50%)の場合

台風(風害)により80万円の損害が発生した

建物更生共済  
むてき(契約日:H16.4.1~H29.3.31)  
自然災害共済金 40万円+臨時費用共済金12万円  
=共済金合計52万円

News  
むてき プラス(契約日:H29.4.1以降)  
風水害等共済金 80万円+臨時費用共済金(※1)24万円  
=共済金合計104万円  
ポイント⇒加入金額を上限に損害の額をそのままお支払いします。

※1、臨時費用共済金の支払割合を30%と設定した場合の金額です。(1回の事故につき1建物ごとに250万円を限度とします)  
※この資料は概要を説明したものです。検討にあたっては「重要事項説明書(注意喚起)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

## 特集 JA共済の耳より情報

### J A自動車共済に便利なアプリ登場!

私たちの暮らしのなかで車は欠かせないものとなっている一方で、交通事故は常に発生しています。万一の事故・故障の際には、慌てず行動することが大切です。今回の特集では、事故発生時の対処方法、また緊急時に心強いスマホアプリなどを紹介します。

登録はカンタンです。  
アプリへ通知後は、それぞれの受付窓口に電話がつながり担当のオペレーターの質問に答えていただきます。その後の対応もオペレーターが指示してくれます。ご不明な時は本支店共済窓口へお尋ねください。



### ○JAの自動車共済加入者向け○ JA共済「くるまのミカタ」

<平成28年10月>

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。※事前登録が必要です

#### ◇万が一、自動車事故に遭った際の手順

- ①けが人の救護(119番) **事故発生**
- ②事故車を安全な場所へ移動
- ③警察への届出(110番)
- ④相手方の確認  
加害事故、被害事故に関わらず相手方の氏名・住所等を免許証などで可能な限り確認しましょう。
- ⑤事故状況・目撃者の確認
- ⑥アプリ「くるまのミカタ」を利用
  - 1)事故発生の日時・場所
  - 2)事故の状況
  - 3)相手方の氏名・住所
  - 4)目撃者の氏名・住所
  - 5)損害賠償の請求を受けたときは、その内容

※直接JAへお問い合わせの場合も上記をお知らせください。

- ①事故受付 受付窓口/JA共済事故受付センター  
①GPS機能で位置情報を送信することができます！  
②お車情報を自動送信します！

必要な情報をJA共済事故受付センターに送信でき、迅速な事故受付が可能となります。※JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

- ②レッカー・ロードサービスの要請  
受付窓口/JA共済サポートセンター  
①GPS機能で位置情報を送信することができます！  
②トラブル状況の画像を送信することができます！  
③お車情報を自動送信します！

必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます！

### ダウンロードと設定・登録について 無料でダウンロードできます。

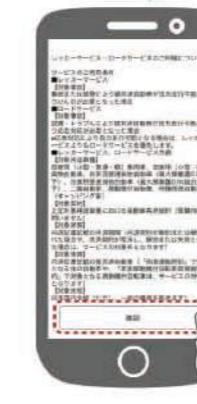
#### 1 まずはアプリのダウンロード

App Store、Google Play  
からアプリをダウンロードします。



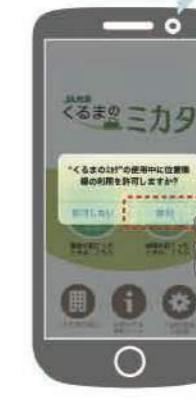
#### 2 アプリを起動します

利用規約に同意



#### 3 GPS機能をオンにします

GPS機能の利用許可



#### 4 登録画面で必要な項目を入力

ナンバーなどを入力



## ■飼養管理のレベルアップへ

### ～むつ地方和牛改良組合総会～

むつ地方和牛改良組合は5月18日、むつ市内で通常総会を開いた。30年度事業計画では、自家保留牛の発育検査、県内外への視察研修の実施で、さらなる飼養管理技術のレベルアップを目指す。

同改良組合は設立3年目で、会員数が22人。29年度は年3回の保留牛審査や、和牛コンサルタントを招いた技術講習会などを開いてきた。

総会には会員13人が出席し、新年度の事業計画などが原案通り承認。むつ支店の畜産担当職員は「仲間との交流を通じ、会員の意識に変化がでている。組織設立が良い効果をもたらしている」と話す。



▲総会であいさつする鈴木悦雄組合長



## 面積拡大分の種苗費助成

### ～軽量野菜の作付け推進～

J A十和田湖野菜センターで5月23日、ホウレンソウと春菊の出荷目ぞろえ会を開いた。地域指定の種苗費助成で作付け推進を図り、今年度は2品目合わせて前年比1千万円増の約1億2,700万円を目指す。

2品目の生産者戸数は、合わせて108戸で作付面積が11.3ha。平成29年度は、やさい産地拡大対策事業の種苗費助成として、作付面積を拡大した生産者19戸に計約9万円を支援した。

目ぞろえ会では、参加農家32人が品質と出荷の基準を確認した。春菊の出荷は6月中旬から本格化し10月末まで続く。ホウレンソウは周年出荷。



▲品質と出荷基準を確認する生産者

## ■自転車マナーの重要性学ぶ

### ～スタントマンが事故再現～

全共連青森県本部は5月28日、十和田市の十和田中学校で「JA共済自動車交通安全教室」を開いた。生徒ら約200人は、スタントマンによる体を張った事故再現を体感し、交通マナー順守の大切さを学んだ。

日常で起こる自転車事故の信号無視やわき見運転の危険を伝え、「ルールを守り、自分たちで事故から身を守ろう」と呼びかけた。

生徒会長の藤田晴愛さんは「事故の怖さを忘れずに、安全確認を行っていく」と話した。



▲スタントマンによる事故再現を見学する生徒たち



## 達人から植え付け学ぶ

### ～「ながいも育成塾」～

当JAの「ながいも育成塾」は5月25日、大深内支店管内の仁和勝千代さんの畑で良品質生産に向け、種芋の植え付け講習会を開いた。

参加塾生10人は栽培の達人、仁和さんから畠の作り方や覆土作業などを教わった。植え付け後の管理について、仁和さんは「害虫防除のための粒剤使用や排水対策をしっかりと行うこと」とアドバイス。JAでは「早めの植え付けにより、茎葉の生育日数を確保することが重要」と呼び掛けた。今後は講習会や畠の巡回で、病害虫防除対策等も注意喚起していく。



▲種芋の植え付けを学ぶ参加塾生



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け、JA十和田おいらせは「創造的JA自己改革」の取り組みを実践中です。



## ダイコン10億円超えを

### ～鮮度と味の良さ前面にPR～

おいらせ町のJA下田野菜センターで5月28日、ダイコンの首都圏初出荷式を行った。ダイコン8トンが積み込まれたトラックが三重中央青果(株)に向けて出発した。今後は、関東・中京の青果市場にもエリアを拡げ、出荷は11月まで続く。JA全体でシーズン取扱高10億円超えを目指す。

ももいし・下田の2支店管内は県内最大のダイコン産地で、夏場は全国の主力産地になる。繊維がきめ細かく、軟らかい食感で出汁がしみこみやすいのが特長。今年産の作柄は良好で、6~8月の3カ月間、出荷が本格化する。



## 軟白ネギ早期防除を

### ～初発生時が重要～

当JAは5月11日、十和田市内でハウス軟白ネギの栽培講習会を開いた。今後、気温の上昇と乾燥により害虫の発生が高まるので、JAは早期防除などを呼び掛けている。

講習会場の十和田市深持の中野渡教仁さんのハウスには生産農家12人が集まつた。3月中旬の苗定植後の生育を確認して、上北地域県民局農業普及振興室とJAの担当職員が、発生しやすい害虫とその対策を説明。農業普及振興室の担当職員は「害虫の密度が高まれば防除が難しくなる。出始めからの対策が重要」とアドバイスした。



▲生育確認しながら害虫防除のアドバイスを受ける参加農家

ダイコンを選別する▶  
JA作業員



▲シーズンの安全運搬を願いテープカット

出荷式には生産農家や青果会社・運送会社の関係者、JA役職員ら30人が出席。農家の代表者ら6人のテープカットでシーズンの安全運搬を願った。

## ■管内の田植え真っ盛り

### ～良質苗で豊作祈る～

JA管内では5月上旬から下旬にかけ、田植えが盛んに行われた。十和田市の農事組合法人六日町(高森幸作代表)は、藤坂支店管内のトップをきって5月6日から田植えをスタート。同法人のメンバーは、実りの秋を祈りながら田植え機で「まっしぐら」の苗を植え付けた。

同法人は、奥入瀬川沿いの水田20haを中心に主に「まっしぐら」を植えた。メンバーの米農家は「良質な苗に育った。10ha収量10俵以上を目指したい」と期待を込めた。



▲田植え作業に精を出す米農家